

令和8年度 国語科

教科	国語	科目	現代文演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	文学のとびらを開く 近現代文学名作集 (明治書院) 新コンセプト 文学国語 小説・随筆・鑑賞・文学評論 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

文学的な文章を読み、演習問題に取り組むことで、国語の知識力や読解力を身に付けましょう。

- ・必ず予習をし、本文中の意味のわからない言葉は自分で調べ、語彙力を付けましょう。
- ・漢字・語彙のテストを定期的に行います。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

基礎的な語彙、漢字の読み書きの習熟を深めるとともに、生涯にわたって公用語、母国語である国語に親しみ、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的文章や文学的文章を読み解く方法を身に付けて、文章の読解力を高め、自分の考えを深め、また、自分の意見として他者に伝わるように適切にわかりやすく表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・基礎的な語彙、漢字の読み書きの習熟を深めるとともに、生涯にわたって公用語、母国語である国語に親しみ、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	・論理的文章や文学的文章を読み解く方法を身に付けて、文章の読解力を高め、自分の考えを深め、また、自分の意見として他者に伝わるように適切にわかりやすく表現できる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	『夢十夜』	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 「文学のとびらを開く 近現代文学名作集」	b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえて作品の解釈を深めている。		ワークシート	
	『山椒魚』	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 「文学のとびらを開く 近現代文学名作集」	b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。		ワークシート	
二学期	『舞姫』	a:文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 「文学のとびらを開く 近現代文学名作集」	b[読]:設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。		ワークシート	
	『赤い繭』	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 「文学のとびらを開く 近現代文学名作集」	b[読]:文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。		ワークシート	
	『よだかの星』	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 「文学のとびらを開く 近現代文学名作集」	b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえて作品の解釈を深めている。		ワークシート	
	『セメント樽の中の手紙』	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	定期考査	定期考査	ワークシート
	[教材] 「文学のとびらを開く 近現代文学名作集」	b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。		ワークシート	
		c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。			

三 学 期	『途中下車』	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期 考査	定期 考査 ワーク シート	ワーク シート
	[教材] 「文学のとびらを開く 近現代文学名作集」	b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえて作品の解釈を深めている。 c:読解に必要な語句の量を増し、表現描写を踏まえて内容を解釈しようとしている。			
	『鼻』	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期 考査	定期 考査 ワーク シート	ワーク シート
	[教材] 「文学のとびらを開く 近現代文学名作集」	b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえて作品の解釈を深めている。 c:読解に必要な語句の量を増し、表現描写を踏まえて内容を解釈しようとしている。			

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準 b[]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … () 時間
- ・書くこと … () 時間
- ・読むこと … (70) 時間